

アオテアロア ニューージーランドの運転事情

海外から来られた方が運転する際は、ふだん慣れ親しんでいる交通事情との違いにご注意ください。

例：

- 車は左側通行
- 目的地までの所要時間を少なく見積もりやすい
- 道路幅が狭い場所、カーブや急勾配の場所がある

ニュージーランド警察は、すべての道路利用者が交通ルールを守って安全運転を心がけるように監視し、その一環として全国各所にスピードカメラを設置しています。道路交通法違反や事故を起こした場合、罰金や起訴の対象となることがあります。

警察に止められたら

警察が停車を求める場合、対象車の後ろにつき、赤と青の回転灯を付けてサイレンを鳴らします。その際は、すみやかに道路脇の安全な場所に停車し、警察官が来るまで車内に待機する必要があります。

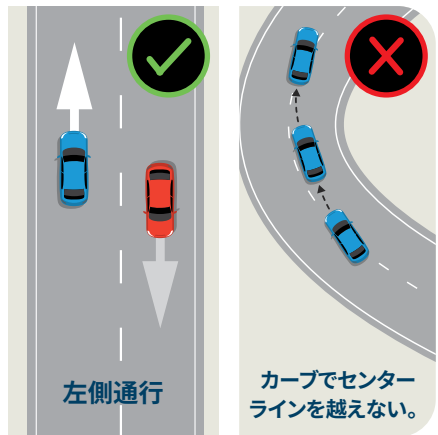
所要時間

目的地までの所要時間を少なく見積もってしまうのは、よくあることです。地図上ではさほど離れてないように見えても、道路幅が狭い場所や、カーブや起伏の多い山間部、未舗装の砂利道などの走行にはより時間がかかります。

所要時間の計算ツール：journeys.nzta.govt.nz/journey-planner

左側通行

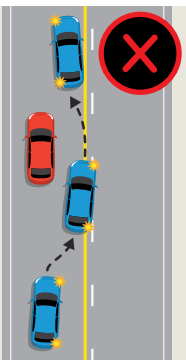
- 常に道路の左側を通行する。道幅の狭い一部の道路にはセンターラインが引かれていないため要注意。
- 運転中は常に左側通行を心がけ、交差点や道路へ進入する際は特に注意する。
- カーブでセンターラインを越えない。
- 追い越しや右左折が安全にできる場合を除き、センターラインをはみ出さない。



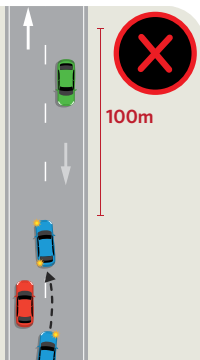
追い越し

ほとんどの道路は片道1車線ですが、場所によって追い越し車線が設けられています。可能な限り、追い越し車線の区間内で追い越しを行い、無理な追い越しは避けましょう。

センターラインの内側に黄色実線がある区間では、追い越し禁止です。センターラインが二重の黄色実線になっている区間では、両車線で追い越し禁止です。



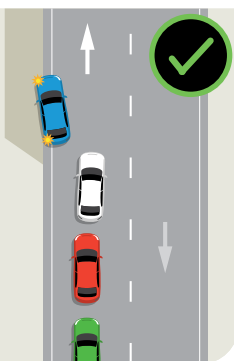
進路を変えて追い越しをする際は、進行中の前の車の前方に出るまで前方100メートルに車両がないことを確認します。



カーブやその付近での追い越しは絶対にしないでください。



減速中に後続車の列ができてしまった場合は、安全な場所で道路脇に寄り、後続車に道を譲ります。



運転速度

場所によって制限速度が異なるため、必ず速度標識を確認してください。交通状況（雨や霧など）によっては制限速度よりも減速し、安全運転を心がけてください。

総重量が3,500kgを超える車両の運転や、ボート・キャンピングカー・トレーラーなどを牽引する際は、制限速度が時速100kmであっても時速90kmを超えてはなりません。



制限速度標識の例

制限速度が時速100kmの場合でも、道路状況に応じて安全運転を心がけてください。



これらは標識の先に急カーブや屈曲があることと、その区間を安全かつ無理なく走行できる速度を示しています。矢印はカーブの向きを示します。



シートベルトの着用

前・後部座席の全乗員に対し、シートベルトの着用とチャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。



年齢	法的要件
7歳未満	認可されたチャイルドシート
7歳児	認可されたチャイルドシートがある場合はそれを使用 (シートベルトも可)
8歳以上	シートベルト
成人	シートベルト

運転時の疲労

運転時の疲労によって事故を起こす確率が通常よりもはるかに高くなります。

- ・ 事前に十分な睡眠をとる (長時間のフライト後は特に重要)。
- ・ 2時間おきに休憩する。
- ・ 可能であれば交代で運転する。
- ・ ふだん寝ている時間には運転しない。
- ・ 食べすぎによる疲労・倦怠を避ける。水分を十分に取る。
- ・ 眠気を感じたら安全な場所に停車し、15分から30分の仮眠を取る。極度の疲労に襲われたときは、翌朝までどこかで一泊する。

安全に景色を楽しむ

景色に気を取られて道路から目を離してはなりません。景色を眺めたいときは、道路脇の安全な場所に停車してください。停車禁止の標識や黄色の破線がある場所で停車してはなりません。

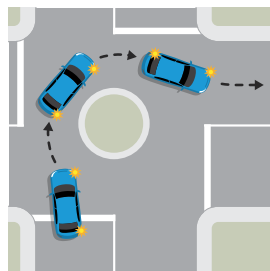
交差点



「STOP (止まれ)」の標識のある場所では必ず車を完全に停止させ、左右・前方から来るすべての車両に道を譲ります。



「GIVE WAY (譲れ)」の標識のある場所では、一時停止で止まっている車両を除き、左右・前方から来るすべての車両に道を譲ります。



ラウンドアバウトは時計回りに進入し、右側から来る車両に道を譲る必要があります。

一車線の橋

一部の地域には一車線の橋があります。

下の標識は前方に一車線の橋があることを警告しています。それらの場所では減速し、対向車の有無を確認してください。道を譲る必要があるときは一時停止してください。

小さな赤い矢印は、道を譲る方向を示しています。



上の2つの標識は、対向車を優先することを示しています。



この標識は、すでに橋に進入している対向車がない限り、優先して橋を渡れることを示しています。

携帯電話の使用

運転中は、携帯電話を手を持って使用してはなりません。ハンズフリーの携帯電話に限ります。運転中に携帯電話のメール機能を使用することは違法です。



踏切の横断

- ・ 赤信号が点滅しているときは停止し、点滅が終わるのを待ってから横断します。
- ・ 「STOP (止まれ)」の標識がある踏切では停止し、どちらの方向からも列車が来ていないことを確認してから横断します。
- ・ 「GIVE WAY (譲れ)」の標識があるときは徐行し、列車が来ていないことを確認してから横断します。



未舗装 (砂利) の道路

未舗装道路は滑りやすいため、できるだけ道路の左側に寄り、速度を落として走行します。対向車が近づいてくるときはさらに減速し、土埃で視界が遮られたり、はねた小石でフロントガラスが破損したりしないように注意します。



他者への思いやり

横断歩道や交差点では、道路を横断中の歩行者に注意します。

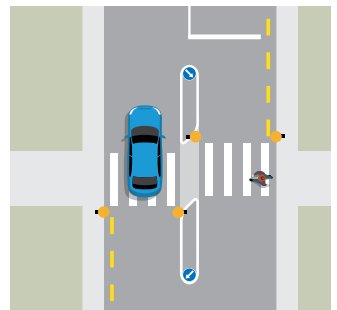
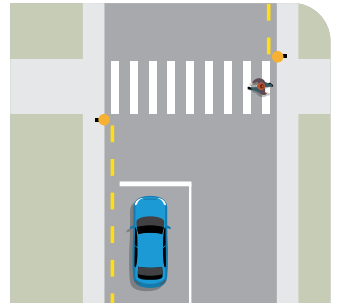
横断歩道に近付いたら：

- ・ 減速し、横断中の歩行者や飛び出し、横断歩道の手前にいる歩行者に注意を払う。
- ・ 横断歩道の中央に路面より一段高い交通島がない場合は、一時停止の上、横断歩道上にいる歩行者を優先する。
- ・ 横断者が自動車の前を完全に横切るのを待ってから、運転を再開する。

横断歩道の先に前の車が停車し、十分なスペースがない場合は、横断歩道に進入しないこと。

自転車の近くでは必ず減速し、安全を確認してから追い越します。その際は、自転車から1.5メートルの間隔をとります。

前方に動物が見えたら減速し、注意して追い越します。クラクションは鳴らさないでください。



冬場の運転

天気が変わりやすいため、天気予報と道路状況を事前に確認し、柔軟な対応を心がけてください。

metservice.com

nzta.govt.nz/traffic

一般道でも降雪や凍結によって交通事故のリスクが高まりますが、山道や日の当たらない道路では特に注意が必要です。レンタカー会社でスノーチェーンを借りられる場合は、出発前に装着方法を確認してください。



路面の濡れや凍結の可能性を示す「スリップ注意」の標識を見たら減速し、急ブレーキを避けてください。

合図

右左折や車線変更、合流、離脱の際は、必ず方向指示器で3秒以上の合図を出します。

駐車

進行方向と反対向きに駐車した場合、罰金またはレッカー移動の対象になることがあります。一方通行の道路では、左右どちらにも駐車できます。

飲酒および薬物使用

飲酒や薬物の使用後は絶対に運転してはいけません。

たとえ処方薬であっても、運転に影響する可能性のある薬物が体内に残った状態で運転することは道路交通法違反です。

20歳未満のアルコール基準値はゼロです。20歳以上の基準値も非常に低く設定されているため、運転前にアルコール類を一切口にしないことが最も安全です。

運転免許関連の法的義務

運転時には現在有効な運転免許証または運転許可証を常に携行しなければなりません。英語表記されていない諸外国発行の免許証や許可証については、正確な英訳を併せて携行する必要があります。入国後12カ月を経過した場合、国内運転免許証を取得することが義務付けられています。

詳細：nzta.govt.nz/driver-licences/new-residents-and-visitors